

マリン児島だより

No.26

平成30年10月発行
マリン児島地区
社会福祉協議会
(児島小学校区)
事務局 ☎473-2432
印刷: (有)タナベ印刷

30年度事業総会で説明

児島学区交通安全強化事業へ積極的に関与

今年のマリン総会は、6月10日(日)多数の来賓をお迎えし開催された。

事業報告では、「高齢者サロンのつどい」等の好評事業を中心に説明が行われた。

また、新規事業では児島学区が高齢者の交通事故等が児島地区内でワースト1と言うことで、児島警察署の児島小学校区高齢者交通安全強化事業へ積極的



多数の来賓を迎え開催された今年のマリン総会

に協力・参加する方針が示された。議案は提案どおり承認され、新年度事業活動がスタートした。



総会冒頭の岡田文夫会長の挨拶骨子を
ご参考までに掲載させて頂きました。

皆さん、お早うございます。 「水無月」初夏の候、となり目に美しく花が咲

き誇る季節となり、観る者の心を癒してくれそうです。 疲れた時には、梅雨に濡れし紫陽花の花に生命力を回復させてもらったような感覚をもたら

し心豊かになり新たなエネルギーともなりましょう。

本日は、平成30年度マリン児島地区社会福祉協議会定時総会の開催にあたり、ご来賓として多くの皆様のご出席を賜り、また、地域の皆様方や関係機関の方々にも、ご多用にも関わらずご出席を頂きまして真に有難うございます。 私達一同、光栄に存じかつ心強く存じます。

■地域社会は目まぐるしく変化

現在の地域社会の変化は目まぐるしく変化し、深刻な生活状況や問題が多く発生し、どの様に対応していけば良いのか大変難しいものです。 65歳以上のうち介護が必要になる人

が、2025年度には、全国で約141万人増え、1.22倍の約770万人と推計され、25年度の財源や人手など深刻な介護の問題や、今や4人に1人の認知症の問題その他、身近な課題として「健康管理」や「時間の生かし方」等、また人生100年時代を迎え、ある自治体では、高齢者に対する固定観念を改めるそうです。

■児島学区が高齢者重点地区に

さて、平成30年度では、児島学区が「高齢者交通安全啓発活動重点地区」に選定されています。 私達は地域のニーズに答えられるよう出来る事から実践していくよう心掛けていきます。

■互いに支え合って幸せをつかむ

これからは「互いに支え合って生きる」「互いに支え合って地域をつくる」「互いに支え合って幸せをつかむ」ことが大切です。そして、人に一番美しさを感じさせるのは「笑顔」であり、心を和ませてくれるのは「優しい言葉」かけです。「笑顔」は、元気の元になります。また、「笑顔」と「優しい言葉」は、人と人の「和」の元になります。

「昔から、家の中で人間関係が出来ていないと針一本すら買うことが出来ないが、人間関係がうまく和があれば黄金すら買える」と言われています。

「人間の存在価値は人間関係の中にあり」とも言われています。そうして、老後をいかに心豊かに過ごす人生100年時代を迎えるに大切なのは、誰もが安心して老いることが出来る環境づくりでしょう。

■最後に

そうして、「高齢者交通安全重点地区」としてふさわしくあるよう「うるおい豊かで明るく楽しい爽やかなよりよい安心・安全な地域づくり」をめざしましょう。

皆さんは、年間何冊くらい読書していますか？私は時間のやりくりが下手で、2〜3冊がやっとです。でも小学校や図書館で読み聞かせをする機会をいただき、絵本を多く読む様になりました。

私の幼い頃の絵本といえば、一枚がぶ厚くて8ページ位しかない昔話が多かったものでした。現在は実に多くの絵本が出版されています。大きさもさまざまで、絵も美術画の様に美しいものや、写真の様にリアルな科学絵本もあります。今や絵本は、子どもだけの

ものではなくなりました。少し込み入った文章だったり、深い内容のお話だったりの、所謂「大人向け絵本」がたくさんあります。人生の真理を教えて

絵本のススメ



マリン児島地区社協
広報部長 沼 静香

くれたり、哀しみ・淋しさにそっと寄り添ってくれたりする絵本たちです。どうぞ、本屋さんや図書館に出かけてみてください。そして手に取って、絵



平成30年度事業計画

月	事業名	対 象	場 所	摘 要
4月	役 員 会	会長・副会長 会計・事務局	児島憩いの家	29年度決算 30年度総会について
5月	地球温暖化防止	小学生児童	児 島 小 学 校	環境講演, EMの活用
5月	理 事 会	役員・理事	児島憩いの家	29年度決算 30年度事業計画について
6月	総 会	役員・理事・ 会員	鳥渡木集会所	29年度決算 30年度予算について
6月	クリーン作戦	関係者全員	児島小学校区	通学路, 主要道のゴミ拾い
8月	三世交代 エ ア	小学生児童・ 父兄	児 島 小 学 校	昔遊び, 測定体験他
11月	高 齢 者 の い	高 齢 者	小川中公会堂	健康・福祉に関するサロン

月	事業名	対 象	場 所	摘 要
11月	男性料理教室	地域の男性	交流センター	自立・地域参画
12月	健康ウォーク	地 域 住 民	小川中公会堂	体力向上と地域社会との連携
1月	防 災 講 演 会	地 域 住 民	小川中公会堂	防災・終活の話
2月	ミ ニ 健 康 展	高 齢 者 等	小川中公会堂	健康な生活を送るために
2月	安全パトロール	パトロール隊	児 島 小 学 校	パトロールについての話
年間	役 員 会	会長・副会長 会計・事務局	児島憩いの家	30年度事業実施 31年度事業計画
年間	高齢者交通安全 強化事業	学 区 全 域	児島小学校区	児島警察署実施の高齢者交通安全強化事業への積極的参加

倉敷たすけあいサービス

この度、倉敷市社会福祉協議会から「倉敷たすけあいサービス」の情報提供がありましたので、概要をお伝えします。

このサービスは、お年寄りや心身に障がいを持つ方、父子母子世帯や妊産婦の方などが、日常生活上の家事や介護で困っているとき「困ったときのたすけあい」の心を持った地域の人々(協力会員)がそのお宅を訪問し、身のまわりのお手伝いをする事業です。この事業は、会員同士の支え合い、助け合いの有償活動で、住み慣れたまちや家庭で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的としています。

サービスのしくみ

このサービスは、たすけあいの観点から利用会員・協力会員ともにまずは、ご入会いただきます。

●利用会員●
日常生活上の家事などで
お困りのお年寄り、
心身に障がいを持つ方、
妊産婦の方など
年間費 1,000円

●協力会員●
市内にお住まいの健康な
方で、誠意をもってこの
サービスに協力できる
20歳以上の方
年間費 1,000円

●賛助会員●
事業の趣旨に賛同し、
経済的に援助して
いただける方
年間費 3,000円

地域の人々



倉敷市社会福祉協議会

利用の申込み

- サービスを利用される方は登録申込書を提出していただきます。本会の担当職員がご自宅に伺い、お困りの内容をお聞きし手続きを進めます。電話による申込みも受け付けます。
- サービスを提供して下さる方は登録申込書を提出していただきます。基本研修終了後、協力会員として活動していただきます。

サービス内容

- 家事援助サービス
ア. 食事のしたく・後片付け
イ. 衣類の洗濯、簡単な補修
ウ. 住居等の掃除、整理整頓
エ. 生活必需品等の買い物
オ. その他会長が必要と認めるサービス など

サービス時間・利用料

基本時間	サービス利用時間	利用料
	月曜～金曜 午前9時～午後5時	700円/時間
超過時間	月曜～金曜 午前7時～午前9時 午後5時～午後9時	900円/時間
	土曜・日曜・祝日	
	年末年始(12/29～1/3)	

※協力会員が利用会員宅まで行くための交通費はありません。

岡田会長の挨拶で開会



今年、昨年より多い92名の参加で、子どもたちは思い思いのブースで昔遊びを大いに楽しむとともに大人も血流測定や骨密度、脳年齢、体脂肪の測定体験、更に脳トレ、防災関係情報等取得したり、最後は全員で交通安全〇×クイズで大いに盛り上がり、三世代揃っての楽しい夏休みの良き思い出がいっぱい詰まった一日となった。



子どもたちに人気のゴム鉄砲



楽しくフーセンづくり

高齢者サロンのつどい開催!

みんなで楽しく…ためになる話し聞いて…歌って…ゲームして…美味しい食事を戴きましょう!

日時: 平成30年11月3日(土) 10:00～13:00

場所: 小川中公会堂(駐車場: 公会堂北「小川四丁目公園」)

行事内容: ①高齢者の健康について(看護師さんの話) ②舞踊
③楽しい歌とゲーム ④脳トレ ⑤美味しいチラシ寿司

対象: 児島学区在住の高齢者

参加者: 各自で会場までお越し下さい

主催・共催: マリン児島地区社協 児島学区婦人会 児島学区愛育委員会

現地報告

西日本災害から三ヶ月が過ぎ今なお被災地では家の片付け処理に追われています。ボランティアの応援も少なくなりましたが、まだまだ必要とされています。他に民生児童委員協議会メンバーによるボランティアの応援等、各団体の支援の輪が広がっています。もし、仮に小田川堤防でなく酒津の堤防であったら倉敷市内全域に渡り被害が予想されます。児島地区も例外ではなく、児島地区全域の断水が想定されます。(児島の水道水は酒津浄水場より送水されている。)

被災地支援の輪広がる!

児島学区各団体がボランティア応援

マリン事務局長 森本忠敬(防災コーディネーター)

断水が想定されます。(児島の水道水は酒津浄水場より送水されている。)

9月25日(火)児島学区愛



広がるボランティアの輪

卒寿を超えて⑦



四字熟語のクロスワードにはまっています! 熊城艶子さん(91才)

県北の出身で、従軍看護婦として長崎や舞鶴に赴任され終戦を迎えられました。結婚をなさり児島に昭和28年頃に移られた時、当時は塩水が使われていたことでした。真水を営利までもらいに行っていたそうです。産代理として小・中学校に養護教諭として勤務されましたが、ご主人が55才で会社を退職し自営を始められたのでそれを支えてこられました。息子さん60才頃より、息子さん

族で近所で話し合い、いざと言う時の備えを考えるとほしいものです。「防災対応の強化」と県とか市が言ってもやはり最後は近所同志の声かけが一番だと思っています。これまで災害がなかったから余り関心がないではすまされないこの頃となっています。住民一人一人が声を出し、助け合っ